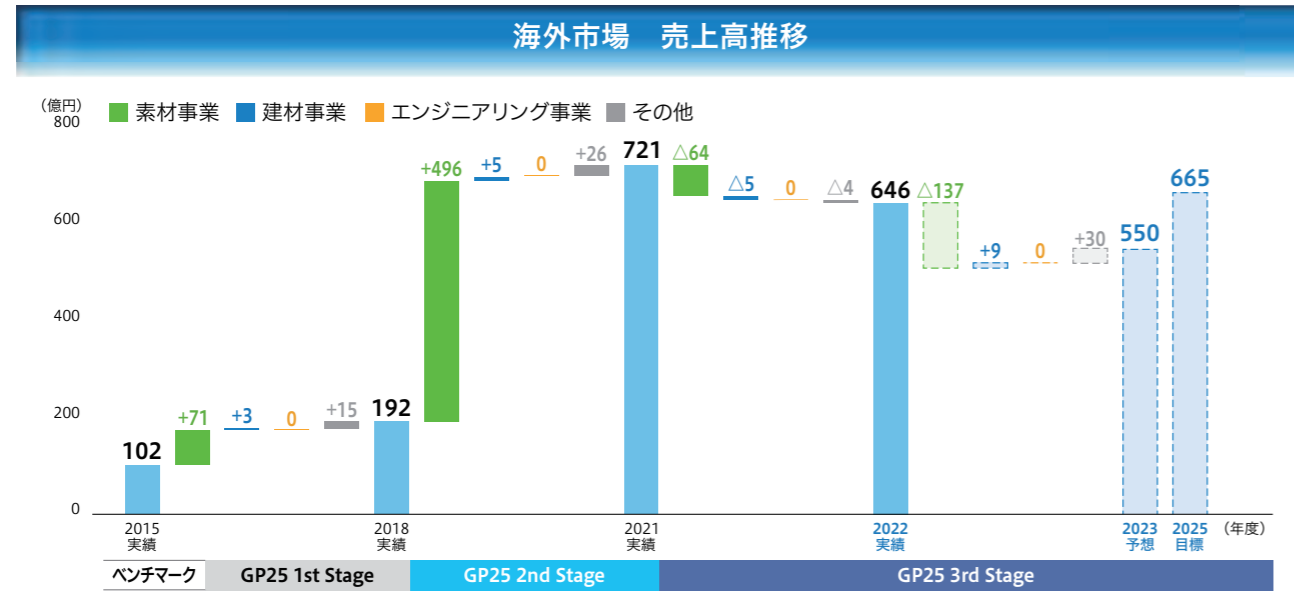
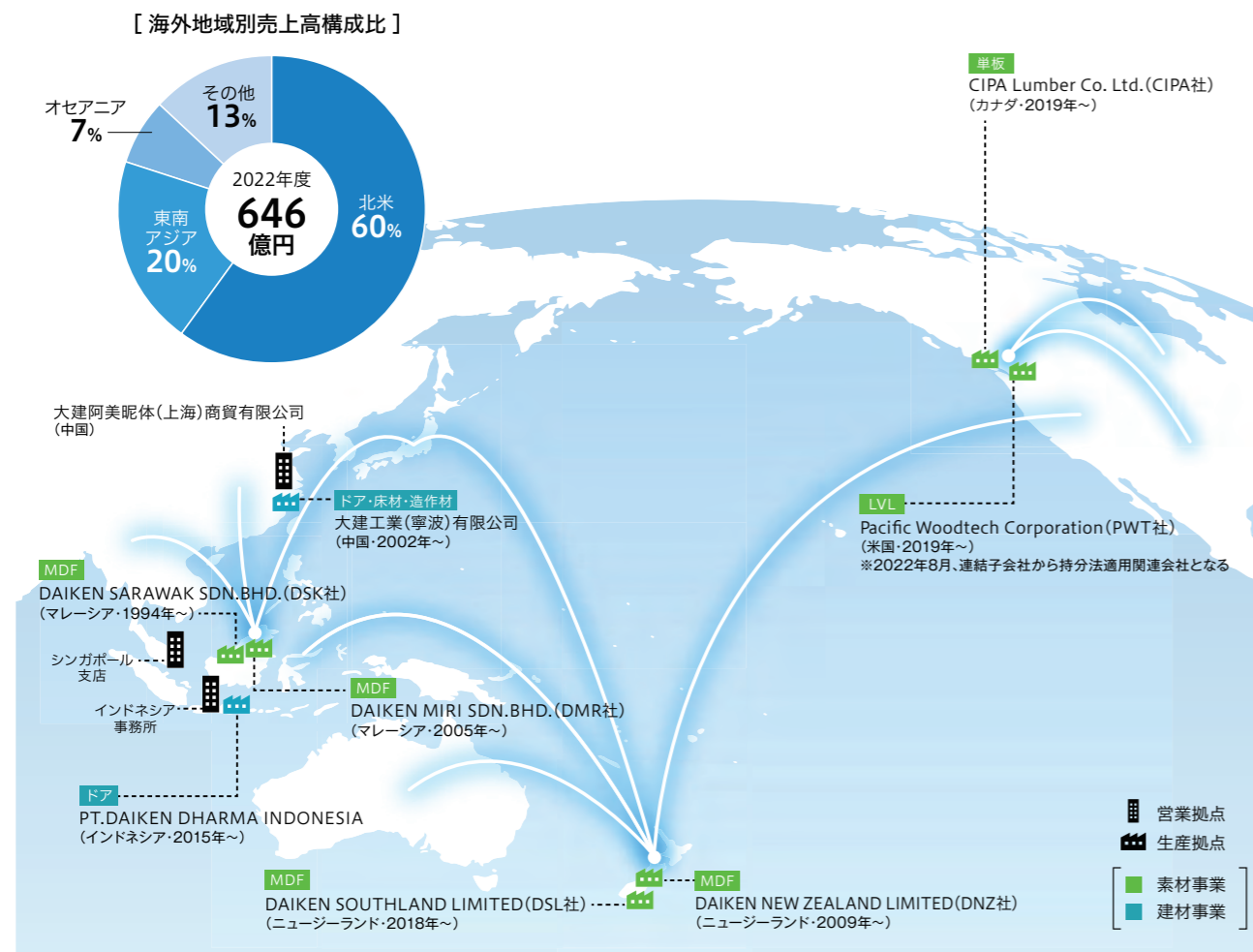


海外市場

海外市場の素材事業では、マレーシア、ニュージーランドで生産するMDFの販売に加え、カナダ、米国で生産する単板、LVLを中心とした北米木質素材により拡大を図っています。建材事業では、巨大な市場規模の中国、住宅需要拡大が見込まれるインドネシアで内装ドアを中心に展開しています。



海外拠点/海外地域別売上高構成比



MDFによる展開

製品の特長

マレーシア、ニュージーランドの2カ国4工場体制で木材の端材を有効活用したMDFの生産を手掛けています。樹種や製造ラインの特長を活かし連携を図ることで、新たな価値を付与した製品の展開と海外市場でのさらなる販路拡大を推進していきます。

マレーシア	ニュージーランド
<p>樹種: 広葉樹</p> <p>マレーシア国内の合板・製材工場などから排出される端材を有効活用した褐色のMDF。優れた耐久性、寸法安定性が求められる床材の基材などに使用されています。</p> <p>特長</p> <p>DSK社は高付加価値の特殊MDFを生み出すなどMDFのマザー工場。2005年のM&AでDMR社と2工場体制に。植林木であるアカシア100%のMDFも開発し、新たな用途展開も進めています。</p>	<p>樹種: 針葉樹</p> <p>ニュージーランドの植林木ラジアタパインを使用した白色のMDF。軽さや滑らかな表面性などが求められる家具や建材の基材などに使用されています。</p> <p>特長</p> <p>「Customwood」ブランドでグローバルに認知されるMDF。超軽量MDFなど顧客ニーズに対応した製品開発に加え、DNZ社、DSL社のそれぞれの製造ラインの特性を活かし生産品目の最適化を図っています。</p>

生産拠点

DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. (DSK社)	DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (DNZ社)
<p>設立: 1994年5月</p> <p>生産能力: 120,000m³/年</p> <p>取得認定: JIS A 5905, PEFC CoC, CARB, EPA TSCA Title VI</p>	<p>設立: 1976年 → 2009年2月にグループ化</p> <p>生産能力: 107,000m³/年</p> <p>取得認定: JIS A 5905, FSC CoC, CARB, EPA TSCA Title VI</p>
DAIKEN MIRI SDN.BHD. (DMR社)	DAIKEN SOUTHLAND LIMITED (DSL社)
<p>設立: 1996年9月 → 2005年2月にグループ化</p> <p>生産能力: 110,000m³/年</p> <p>取得認定: JIS A 5905, PEFC CoC, CARB, EPA TSCA Title VI</p>	<p>設立: 1993年11月 → 2018年4月にグループ化</p> <p>生産能力: 195,000m³/年</p> <p>取得認定: JIS A 5905, FSC CoC, CARB, EPA TSCA Title VI</p>

海外 41%

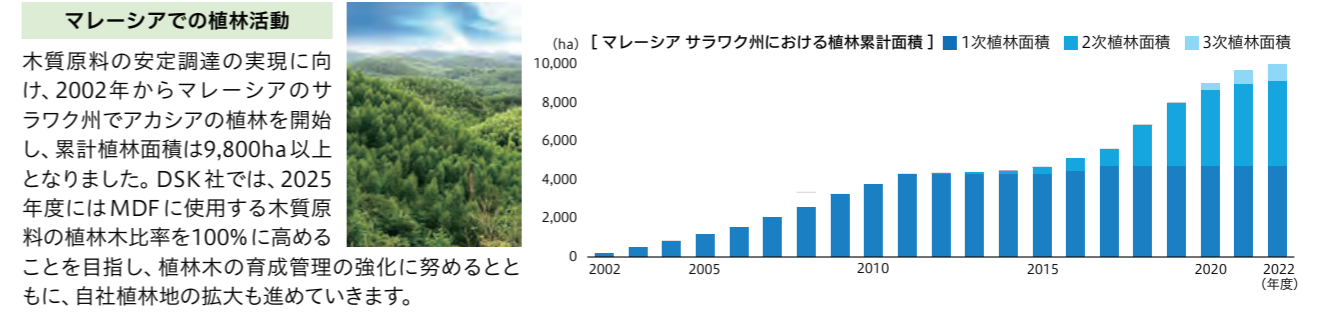
アジア 23%

オセアニア 10%

米国 8%

日本 59%

MDFの地域別売上高構成比 (2022年度) ※自社消費分含む



今後の展開

- | | |
|----------------------|---|
| ① 生産体制の最適化による収益性向上 | 拠点ごとの特性を活かした生産品目の最適化により、収益性向上を図る。 |
| ② 新たな用途開発・提案の強化 | 合板やプラスチックの代替素材としての需要に対応した新たな用途開発や提案を強化する。 |
| ③ 原材料サステナビリティのさらなる追求 | 自社植林地の拡大や認証材比率の向上に加え、新たな技術開発により原材料のサステナビリティを追求する。 |

注力市場への取り組み 海外市場

北米木質素材による展開

2019年6月のカナダ単板工場CIPA社及び米国LVL工場PWT社のグループ化により、世界最大の木造住宅市場である米国市場への本格展開を開始。2022年8月には、PWT社がLouisiana Pacific社よりLVLの製造販売を中心とする住宅用構造材製造事業を取得し、事業規模が大きく拡大しました。なお、事業取得を目的とする増資に伴い、PWT社は当社連結子会社から持分法適用関連会社となりましたが、引き続きCIPA社との連携を強化するとともに、全米エリアに拡大したLVLの製造・販売網をベースに、日本で培った大建工業グループの技術力を活かし、より付加価値の高い製品展開を進めることで、北米木質素材事業のさらなる拡大を図っていきます。

単板

CIPA Lumber Co. Ltd. (CIPA社)

設立: 1968年4月 → 2019年6月にグループ化
所在地: カナダ(ブリティッシュコロンビア州デルタ市)
事業内容: 単板製造・販売

LVL

Pacific Woodtech Corporation (PWT社)

設立: 1998年1月 → 2019年6月にグループ化
→ 2022年8月、持分法適用関連会社となる
所在地: 米国(ワシントン州バーリントン市)
事業内容: 構造用LVL及びI-Joistの製造・販売

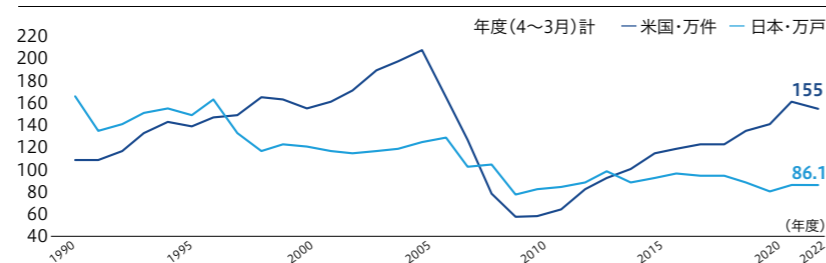
グループ化の意義

- 海外市場での拡大
日本国内の新築住宅市場の縮小が見込まれる中、長期ビジョンで注力市場と位置付ける海外市場での拡大を図る。
- 世界最大の木造住宅市場への進出
日本国内の約2倍の住宅を供給する世界最大の木造住宅市場で、かつ、年間200万人以上の人口増が見込まれている成長市場である北米市場への進出を図る。
- 素材開発力を活かしたシナジーの追求
素材に技術を注入し、付加価値を高めることで拡大してきたビジネスモデルを北米市場で展開することにより、さらなる拡大を図る。また、素材を軸に市場を捉えることにより、新たな用途展開を目指す。

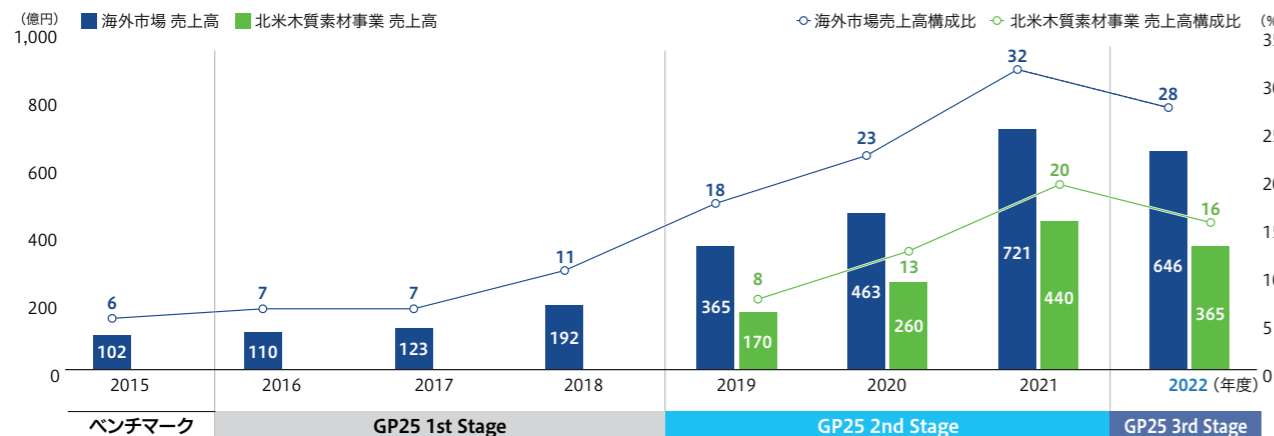
世界最大の木造住宅市場

世界最大の木造住宅市場である米国の直近2022年度の住宅着工件数は約155万件で、住宅価格の高止まりや政策金利引き上げの影響を受け、前年度から減少しましたが、それでも日本の約1.8倍の市場規模を誇ります。今後の市場動向につきましては、移民政策による中長期的な人口増に加え、リーマンショック後の住宅ストックの不足、ミレニアル世代の持ち家比率の増加などを背景に、底堅い住宅需要が見込まれます。

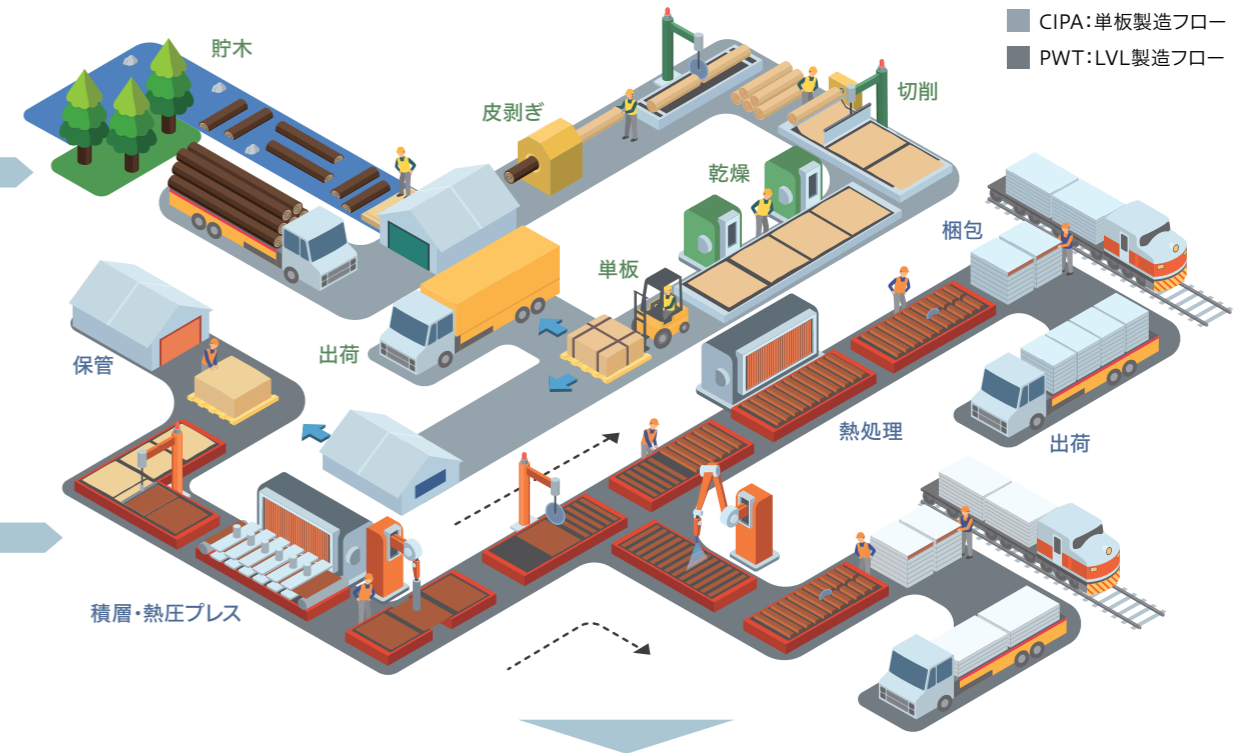
米国・日本住宅着工推移



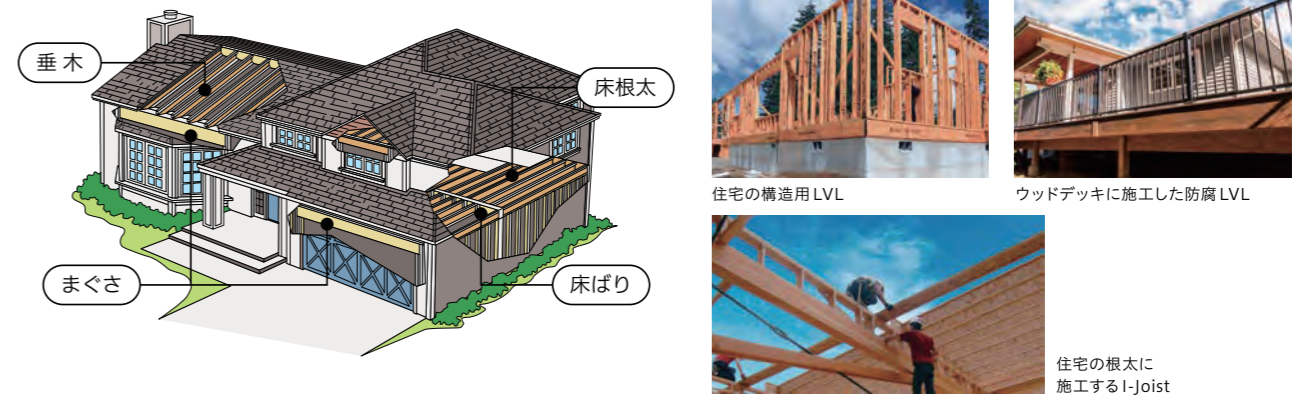
北米木質素材事業を軸とした海外市場での拡大



事業フロー



主な用途



新たな用途展開・高付加価値製品の開発

木造住宅の梁などに使用する通常のLVLやOSBとLVLを複合した「I-Joist」に加え、LVLをさらに積層して強度を高めた高強度LVL「Billet Beams」や腐食しにくい処理を施した防腐LVL「Treated」といった付加価値を高めて新たなニーズに対応するためのLVLを新製品として投入し、拡販を進めています。

今後の展開

- CIPA社とPWT社との連携強化
CIPA社において単板生産能力増強に向けた投資を実施し、LVLの生産規模を大きく拡大させたPWT社への単板供給量の増加を図る。
- CIPA社の収益性向上
原木の安定調達、生産効率向上を進めることにより、さらなる収益性向上を図る。
- 新たな商材への展開
単板やLVLの販路や現地ネットワーク等を活用し、シナジーの期待できる新たな商材への展開の検討を進める。